

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興をお祈りするとともに、連合として全力を挙げて支援に取り組んでまいります。

No. 174(2012.10.19)

男女平等参画 推進NEWS

連合・構成組織・単組・地方連合会の統一目標



- ◎運動方針に男女平等参画を明記する
- ◎女性組合員比率の女性役員を配置
- ◎女性役員ゼロ組織をなくす



①連合鳥取発：「第9回連合鳥取男女平等参画学習会」を開催！

②連合北海道発：「第23回連合北海道女性委員会定期総会」を開催！

連合鳥取発：「第9回男女平等参画学習会」を開催



実践女子大学 鹿嶋教授の講演

連合鳥取は、8月11日に中部教育会館で75人（女性22人・男性53人）の参加により『第9回男女平等参画学習会』を開催し、「女性にとってはもちろん、男性にとっても生きやすい社会をつくるための取り組み」や「男女平等参画社会に向けて労働組合が考えなければならないこと」について学習を深めました。

主催者を代表して五十嵐会長が「連合鳥取発足から今日まで、男女平等参画社会に向けて取り組んでいるが前進しているとは言い難い。女性は雇用労働者の約半数を占めており、非正規労働で働く女性も増え続けている。しかし、男女格差がある環境は整備されておらず、『ともに生活できる環境づくり』が急がれる。職場、家庭、地域の中で実現できるよう、今日の学習会で深めていただきたい」と挨拶しました。

続いて、実践女子大学人間社会学部教授で男女共同参画会議議員でもある鹿嶋敬さんより、「男女平等参画社会に向けて～課題と労働組合として果たすべき役割～」と題として講演いただきました。

「男女平等参画社会」に向けて推進するには「男が稼いで、女性が家庭を守る」という概念を払拭することが必要であるという指摘の他、国や連合が示す「第3次男女平等（国は共同）参画基本計画」でめざす、①固定的

性別役割分担意識をなくした男女平等社会、②男女の人権が尊重され威厳を持って個人が生きることができる社会、③男女が個性と能力を発揮することによる多様性（ダイバーシティ）にとんだ活力ある社会、④男女共同参画に関して国際的な評価を得られる社会について説明がありました。あわせて、男女共同参画の基礎知識として「社会や家庭での男子の伝統的役割を女子の役割とともに変更することが男女の完全な平等の達成に必要である」と、女子差別撤廃条約（1985年批准）にも触れながら説明されました。

また、労働組合も男性優位の「男性型労働組合」からの脱却を考え、男女平等参画の実現に向け、社会的メッセージ・アピールの発信が必要であり、そのためには、指導的地位の女性を増やすとともに、男性（特に男性労組役員）の意識改革や、組合活動へ女性の積極参加を促すことが必要であると指摘がありました。

その後、意見交換を行い、最後に、前田連合鳥取男女平等局長が、「連合鳥取第2次男女平等推進計画の最終年度の取り組み評価を分析するとともに、現在とりまとめている男女平等参画実態調査結果を踏まえ、今後の次期取り組みに活かしていきたい」とまとめました。



真剣に講演を聴く参加者

<情報提供 by 連合鳥取 吉田正副事務局長>

連合北海道発：「第23回連合北海道女性委員会定期総会」を開催



山田女性委員会委員長の挨拶

第23回連合北海道女性委員会定期総会が10月6日、札幌において開催されました。

はじめに、山田女性委員会委員長は挨拶で、「男女平等参画アンケート調査報告を踏まえれば、産別・地協等における女性の役員等登用は依然として進んでおらず、まずは、統一目標である①運動方針へ男女平等参画の推進を明記する②女性役員ゼロをなくす③女性組合員比率に応じた女性役員の配置、をしっかりと達成することが必要であり、そのために具体的な計画をたてて取り組んで欲しい。」と

訴えました。

来賓として、連合北海道渡辺副事務局長、山崎衆議、徳永参議、広田道議、篠田札幌市議の女性議員4名と工藤衆議秘書が出席され、それぞれからご挨拶をいただきました。

総会は、全道の10産別、9地協・地区連合から代議員44名が出席し、執行部より1号議案「2012年度活動に関する経過及び総括」、2号議案として「2013年度活動方針」について提案され、本部主催「女性リーダー養成講座」に関する質問がだされた後、満場一致で提案議案が承認されました。

その後、産別・地協から活動の報告を受けました。①小樽地区連合からは、単組交流で学んだこと。春季（国際女性デー）には労働法の学習を実施し、秋季には連合北海道女性委員会山田委員長から民間での活動を講演してもらう予定。②北教組からは、教育現場の労働実態。未来を展望し、連合として発信力を強化する必要がある。③情報労連からは、これまでの女性参画向上と非正規労働者の処遇改善の取り組みについて。④十勝地協からは、3月以降9月まで役員会・学習会・集会を繰り返し開催してきた結果、意識も運動も大きく前進してきた。など、取り組みの成果や課題が報告されました。



女性委員会定期総会の様子

先に実施した「第11回男女平等参画アンケート調査」の結果をみると、産別・地協とも参画が思うように進んでいないと言わざるを得ない状況ですが、総会の活動報告では「取り組みの成果」が多く持ち寄られました。

最後に、2013年度の役員体制とともに、産別・地協において、出来ることを一歩ずつ進めようと確認し総会を終了しました。

これまで連合北海道女性委員会の運動を牽引して頂いた情報労連の黒瀬さんが今総会をもって退任されました。これまでのご指導に感謝致します。

<情報提供 by 連合北海道女性委員会 岩田玲子副委員長>

政策資料 No. 205 「女性の労働組合活動への参画に関する調査報告書」を発行いたしました。これは、単組における男女平等参画の進捗状況を把握するため、2年に1度行っている調査の報告書です。調査結果からは、単組における女性役員比率が徐々に上昇している傾向が明らかになっており、単組・支部では女性役員の裾野が広がっていることが分かります。ぜひ報告書をご一読ください。